

ながさき

商工連ニュース

中小企業経営改善

コミュニケーション情報誌



情報EXPRESS

地域資源で新商品開発

新年あけましておめでとうございます

クローズアップ元気！
株式会社
いのりる建設

長崎の情報をまるごと紹介

「みゅーで！ながさき」

<http://websho.shokokai-nagasaki.or.jp/>

みゅーで！ながさき

検索

長崎の「おいしいもの」を見つけよう!!

「長崎うまかもんカタログ」

<http://websho.shokokai-nagasaki.or.jp/umaka/>

長崎うまかもんカタログ

検索



ご挨拶

長崎県商工会連合会

会長 池原 泉

新年、明けましておめでとうございます。

新春を迎え、皆様のご多幸とご繁栄を心からお慶び申し上げます。

さて、昨年の我が国経済は、かつてない難題に直面致しました。

米国のサブプライムローン問題に端を発した金融不安は、全世界を巻き込み、百年に一度といわれるほどの金融危機に見舞われました。

新しい年を迎えましても、日本経済の先行きは、まだまだ予断を許さない状況にあります。

本県経済にあつては、昨年前半までは好調であつた造船業や電子部品関連分野等、原材料高、円高の影響により、採算悪化・雇用調整がさらに進み、厳しい状況が続くものと思われまふ。

このような状況のなか、国・県等では、中小企業等の資金繰りを応援するため、「緊急保証制度（中小企業庁）」や「中小企業経営緊急安定化対策資金（県制度資金）」等の支援を打ち出しました。商工会では、このような国・県等の施策に呼応して、早急に金融特別相談窓口を設置するとともに、年末まで、会員事業所等からの相談に対応してきたく所です。

今後、国におかれては、金融機関による中小企業者等への貸し渋りなどにより、資金繰りに支障をきたすことがないよう十分な配慮をお願いするとともに、効果的な経済対策を強く期待するものであります。

県連合会といたしましては、県や全国連等とも連携を密にして、現在の危機を乗り切つて参りたいと存じます。加えて、時代が変革するなかで、絶えず緊張感を持ち、会員事業所等のニーズを汲み取り、商工会が本来有するきめ細かな支援体制を再構築することが急務であると認識しているところであります。現在、農水産物の新商品開発などを目的として、取り組んでいきます「農商工連携ファンド」事業などはその一例であります。

「変化」に挑むということは、「困難」を伴うことでもあります。しかし、それを乗り越えることで、さらに魅力ある商工会づくりが可能となり、引いては地域経済の牽引役になれると考えております。どうぞ、商工会員の皆様におかれましては、今後とも斯業がますますご繁栄されますとともに、併せて、商工会事業への倍旧のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様のご健勝と地域のご発展を心からご祈念申し上げます、ご挨拶いたします。

平成二十一年元旦



年頭にあたり

全国商工会連合会

会長 清家 孝

新年明けましておめでとうございます。

我が国経済は、昨年前半の原油・原材料の急激な高騰に加え、後半には、世界的な金融不安により、株価の下落、円高が進むなど、景気の停滞感が更に強まっております。

一方、地域の中小企業の経営環境は、一般の金融危機の影響により、消費の鈍化に加え、金融機関の貸出し姿勢も厳しくなり、商工会地区の小規模事業者の景気動向についても、さらに悪化する傾向にあります。

このような中、全国連では、昨年、十一月二十七日に第四十八回商工会全国大会を「金融・経済安定、中小企業危機突破決起大会」として開催し、政府・与党等に、先に取りまとめた追加経済対策「生活対策」を早急に実施し、中小企業の資金繰りの円滑化や景気浮揚策を直ちに実現するよう要望するとともに、私たち中小企業が一致団結して、現在の経済状況を乗り切る決意を確認したところであります。

ご高承のとおり、地域の経済や雇用、暮らしを支えているのは、中小、小規模企業であり、中小企業が経営環境の変化に対応できなければ、我が国経済の根幹が揺らぐことにもなりかねません。

今こそ、商工会は組織の総力を結集して、中小、小規模企業の支援に取り組み、各地域の、ひいては日本の全体の経済社会に希望と活気を取り戻すべく、貢献していかなくてはなりません。

そのためにも、巡回指導を通じたきめ細かい経営支援の強化、ネットde記帳など中小企業の生産性向上支援、職員の資質向上、農商工連携を通じた産業振興などに積極的に取り組んでいく必要があります。

今年も、全国連は、商工会が地域において、益々、頼りにされる存在となるよう、全力を傾注してまいりますので、皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして今年が明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。

平成二十一年元旦

受賞おめでとう입니다

平成二十年の県民表彰で、商工会関係では次の方々が受賞の荣誉に浴されました。

◎産業（商工）功勞



・**深江 海人** 氏
（長崎県商工会連合会副会長・佐世保市北部商工会会長）



・**増山 哲郎** 氏
（長崎県商工会連合会理事・諫早市商工会会長）



・**峰 マス子** 氏
（長崎県商工会連合会理事・全国商工会女性部連合会副会長・長崎県商工会女性部連合会会長・長崎南商工会女性部長）

◎技術研修のお知らせ

長崎県職業能力開発協会では、スキルアップを目指す方々のために三次元CAD・組込ソフト・コールセンター実務等研修を開催しています。いずれの講座も無料で、技能・技術の修得・向上にお役に立つ内容となっています。詳しい内容や開催日時、お申込み方法などは協会のホームページに掲載されています。

◎長崎県職業能力開発協会

TEL・・・〇九五―八八二―二六六
<http://www.nagasaki-noukai.or.jp/>



地域力連携拠点から

地域資源で新商品開発

地域力連携拠点では、中小企業の経営革新・農商工連携・事業継承などの課題解決を支援しています。今回は佐世保市北部商工会地域力連携拠点の支援事例を紹介します。

◎企業概要

有限会社小林製茶は、世知原茶の荒茶生産、仕上加工、小売販売を行っています。生産から小売まで一貫しているため、お客様の「生の声」を茶栽培・製造現場へいち早く伝えることができ、商品改良やサービス向上に活かしています。また、現場からは、生産者の「こだわり」をお客様にも発信しています。

◎小規模事業者新事業全国展開支援事業による開発商品について

今回の支援により、「ガラゴロ茶」「茶房露」の二つの新しい商品を開発しました。開発には、茶業界の中でも消費者にあまり知られず伸び悩んでいた製品（原材料）に着目しました。茶葉を一度製品化した後、パウダー状に小さく挽き上げた「粉末茶」の利用です。「粉末茶」は抹茶と同等の粒度ですので、抹茶を使った料理やお菓子と同様、簡単に利用できます。抹茶を使用した茶関連商品は全国に多々存在していますが、地産地消の観点から、世知原産の粉末茶を使用した商品開発ができないかが事業のスタートラインでした。

「ガラゴロ茶」の開発は、「うがい」に特化した緑茶商品」をキーワードにし商品化しました。緑茶の成分カテキンのパワー、ティーバッグを使用することによる簡便性、何よりも自然の飲料であるお茶の安心・安全。これらのアピールポイントを前面に出しました。「茶房露」は、お茶を使った、オリジナル

のお菓子を作りたいという思いがありました。町内菓子店の職人さんと試行錯誤して完成したこだわりのお茶菓子です。抹茶のかわりに世知原産の粉末茶を使う事で、商品をPRする力やスタッフの販売意欲が増しました。

◎地域力連携拠点の活用

この二つの商品は世知原茶を新たな形でお客様に提案することで、世知原という小さな茶産地をさらに知って頂くきっかけになりました。「茶房露」は、茶店と菓子店の連携の中で生まれた商品です。地域力連携拠点の支援を受けて、さらに新しい分野との新しい分野との連携を図り、世知原茶の販路拡大、地域の産業振興にもつながっていきたく思っています。

【企業の概要】

業 種…茶製造・販売
資本金…一、〇〇〇万円
TEL…〇九五六―七六一―二〇七四
FAX…〇九五六―七六一―二五七四



第四十八回商工会全国大会を開催 ～実効性のある経済対策の早期実施など七項目を決議

去る、十一月二十七日（木）東京渋谷・NHKホールにおいて、「第四十八回商工会全国大会」が開催されました。

今回の全国大会は、全国各地から商工会の代表者約三千余名が一堂に会し、本県からも商工会長等二十六名が参加しました。

大会には、麻生太郎内閣総理大臣をはじめとして多数の国会議員、関係機関の代表者等が臨席。冒頭、全国連の清家孝会長が「国や地方自治体に対し、景気回復や中小企業支援政策の充実を求めるとともに、これ以上地域が疲弊しないよう、地域の産業振興や、コミュニティの活性化を担っている商工会の役割の理解と、機能強化について、一層の支援を要望する。」と挨拶しました。

続いて、全国連の大高衛組織強化対策本部長が、「実効性のある経済対策の早期実施」など、七項目の大会決議を読み上げると、その場で採択が行われ、中小企業の一層の発展のための対策を内外にアピールしました。

その後、経営改善普及事業の発展に、永年尽力した団体及び役職員の功績に対し、中小企業庁長官表彰及び全国商工会連合会長表彰があり、本県から二十三名（団体含む）が受賞しました。

また、全国大会前の、十二月二十三日（日）から三泊四日の日程で、新興国として注目されるベトナムへ、商工会長海外視察研修を実施。ベトナム最大の縫製工場で、従業員二万二千人を有する名門企業の「NHABECO（ナーベコ）」などを視察しました。

商工農漁連携合同会議及び現地セミナーを開催（県青連）

県商工会青年部連合会は十二月十一日、長崎市において県農協青年部協議会並びに県漁協青壮年部連合会と合同で商工農漁連携合同会議を開催しました。

この会議は昨年八月に続いて二回目の開催で、三団体の役員及び県担当部局から約四十名が出席しました。西川県青連会長は「地域を取り巻く状況は厳しいが、地域活性化のために実りのある事業としたい。」とあいさつしました。

会議では、(株)雲仙きのこ本舗 代表取締役 楠田喜熊氏の講演の後、三団体の代表者による事例発表が行われ、県農協青年部協議会からは、JAながさき県央青年部の土井賢一郎氏が「二億四千万どこへいくもつたいないへの果てなき挑戦」、県漁協青壮年部連合会からは、長崎市茂木漁協青壮年部の梅元健治氏が「もったいない活動で地域を活かす」、県青連からは、雲仙市商工会青年部の端倉忍氏が「青年部活動に参加して～商業と農業と観光を繋ぐ～」のテーマで、それぞれ農商工連携による企業活動等を発表しました。

また、協議では今後の商工農漁連携への取り組み指針として事業推進プロジェクトが提案され、その実現のため県内各地域での団体間の交流を促進し、県レベルのリーダーグループが各地域での取り組みをサポートすることなどが確認されました。

翌十二月十二日には、商工会青年部農商工連携現地セミナーが商工会青年部員約二十名が参加して行われました。「長崎県総合水産試験場」「諫早湾干拓堤防管理事務所」及び「おおむら夢ファームシユシユ」を視察し、農商工連携に係る説明を受けました。



現地セミナー（長崎県総合水産試験場）



商工農漁連携合同会議



家族ひとりの夢を叶える
住まいづくりを目指して…

モダンと伝統がずっと馴染む、
そんなデザインが印象的なY邸。

企業
町

クローズアップ 元気!

県内で頑張る人・企業・町をクローズアップ。みんなの力で町はどんどん元気になる!

株式会社 いのうゑ建設

県内の元気な事業所を紹介しします。今回は南島原市口之津町「株式会社 いのうゑ建設」をお訪ねしました。

家を建てるなら、住みやすさだけでなく、見た目にもこだわりたい。環境に配慮した家に住みたい。家族のライフスタイルにあった家に住みたい。住まいには、家族ひとりひとりのこだわりや夢があり

ます。今回の株式会社いのうゑ建設は、そんな家族の夢を叶えてくれる住まいづくりをしています。

設計から施工まで

会社は、昭和四十六年、井上弘也さんの父、広喜さんが土木事業として創業しました。その後、住宅部門にも進出し、現在の住宅及び店舗の設計・デザイン・施工の一貫体制となりました。

弘也さんは、子供の頃から工作などものづくりが大好きだったこともあり、地元を離れて大学で建築を学びました。卒業後は、福岡の設計事務所へ就職、設計の仕事やコンサルティング業務等四年間勤めました。その後福岡から戻り、

現在は常務取締役として設計から材料の手配、現場監督まで忙しい毎日を送っています。

新事業への取り組み

お客様の要望はさまざま、時には店舗や住宅にあわせてオリジナルの家具を造ることもあります。

「A・A・i・D」というデザイン会社を立ち上げ、少しずつ実績もあげています。今のところは知人の紹介などによる依頼がほとんどですが、商工会のエコシールや、美容院、カフェの店舗設計など、幅広い分野にわたります。

「建築設計に関しては、大学や設計事務所へ勉強しましたが、デザインは独学なんです。」という弘也さんですが、自ら営業にまわり、昔ながらの菓子の新パッケージをデザインした実績もあります。

「町で見かける老舗の紙袋や包装紙などにも、つい目ごとまります。この店は、リニューアルしたなあとか、あそ



井上 弘也さん

この店は昔からずーっと変わっていないとか。」

店舗はその企業の顔にあたることから、店舗設計や改装の際は、看板などに使用するロゴマークと一緒に作成することもあります。

同世代の夢をかなえる 住まい・店舗づくり

「今は大変厳しい建設業界ですが、同世代の若い人達がこれから開業したり家を建てたりする時にお手伝いができればと思っています。大好きなデザインの仕事も増やしていきたいです。」

これから先、すつきりと片づけられた弘也さんの仕事部屋からは、いろいろな家族の夢を叶えていくことでしょう。



ステッカーなどのグラフィック作品も好評だ。

株式会社 いのうゑ建設
〒859-2503
南島原市口之津町 T3812-1
☎0957-86-3450
FAX 0957-86-2003
http://www.aaid.jp

県内企業・町をクローズアップ
みんなの力で町はどんどん元気になる!

T&D 安心できると、新しい未来が見えてくる。

企業保障 38万社
※平成19年度末。当社調べ。
企業保障の件数は、個人保険・個人年金保険の法人契約者数。

長崎支社/長崎市桜町5-3 TEL 095-826-0161

企業保障

DAIDO 大同生命

表紙紹介

国境の島、対馬

— 対馬市美津島町 —

中央部には、日本を代表する溺れ谷の海「浅茅湾（あそうわん）」が広がっています。

幾重にも入り組んだ入り江と岬、無数に点在する小島が四季折々に織りなす景色は息を呑むほどの美しさです。

浅茅湾南部の黒瀬城山（くろせじょうやま）には、1300年程前に防人達が築いた朝鮮式山城「金田城（かねだじょう）跡」、東部の小山（おやま）には『万葉集』に歌われた名山「浅茅山（あさじやま）」があります。

湾内では真珠養殖が盛んで、イカの漁獲も多く、近年は、近海産のヨコワ（本マグロの幼魚）を使った本マグロ養殖も行われています。

また、日本有数のシーカヤックのフィールドであり、初春の海岸を彩る大陸系植物ゲンカイツツジをはじめ、四季の花々や鳥などを間近に見ることが出来るシーカヤック・ツアーの人気スポットです。



中小企業経営改善 コミュニケーション情報誌

商工会は、中小企業の経営改善や地域活性化の支援を行う、商工会法に基づいて設立された法人です。

私たちは、地域の元気を応援します！

長崎県商工会連合会

〒850-0031
長崎市桜町4番1号
発行人 池原 泉

TEL 095-824-5413
FAX 095-825-0392
<http://www.shokokai-nagasaki.or.jp/>

印刷所 (有)正文社印刷所



今回のプレゼントは

五島鯛茶漬け

本会が運営しているサイト「長崎うまかもんカタログ」との共同企画により、県内の特産品を読者の皆様にプレゼントします。
今回の商品は五島海鮮ダイキフーズさんから『五島鯛茶漬け』です。

五島列島の美しい海で水揚げされた新鮮な真鯛の旨味をそのままに秘伝の醤油ダレに漬け込み造りあげた、五島海鮮ダイキフーズさんのこだわりの逸品です。

わさびやきざみ海苔を合わせてお茶漬けに！ または、鯛の漬け丼にして五島の新鮮真鯛の醍醐味を存分にお楽しみ下さい。

お茶漬けとして召し上がる際は、お茶ではなく、白湯をかけていただくとお鯛の旨味と風味が一層ひきたち美味しくなります。

冷凍で六カ月保存可能、贈り物にも最適です。

是非、一度ご賞味下さい。

ご希望の方は、ハガキに「五島鯛茶漬け」と書いて、郵便番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号

号と本誌へのご意見、感想、要望等を必ず明記のうえ、次の宛先までご応募ください。
〒850-0031
長崎県商工会連合会
長崎市桜町四一
ながさきの特産品プレゼント係
締切は平成二十一年三月十日（当日消印有効）とします。
なお、当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

商品提供 五島海鮮 ダイキフーズ

〒853-0702
長崎県五島市岐宿町
川原 1385 番地 3
TEL 0959-82-0454
FAX 0959-82-0454

ご意見・ご感想等
お待ちしております！



お問い合わせ先

V・ファアレン長崎後援会事務局

電話 〇九五七四二二〇九二

<http://v-varen.com/fanclub/>



長崎からJリーグ入りを目指す「V・ファアレン長崎」は、昨年十一月に行われた全国地域リーグ決勝大会で準優勝し、念願のJFL（日本フットボールリーグ）への昇格を果たしました。JFLは、Jリーグを目指すクラブチームや、企業チームなど十八チームが戦うアマチュアサッカー界最高峰のリーグで、三月から十一月まで全三十四試合を戦います。

Jリーグに参入するためのチームの強化や、全国各地への遠征費用などこれまで以上の運営資金が必要となるため、V・ファアレン長崎後援会では、JFL昇格を記念して、「後援会入会促進キャンペーン」を実施しています。ぜひこの機会に、後援会に入会いただきますようお願いいたします。